

グループホーム 倫尚園

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		玄関の見えるところに理念を掲示しており、面会者や見学者には随時説明を行っている。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		管理者・職員全員の目の届くところに理念を掲示し、常に意識することで実践に向けて取り組んでいる。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		見学者や新規入所申し込み時には理念の説明をし、書面でも配布している。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		ボランティアや地域小学校の受け入れも積極的に取り入れ、地域の方々が立ち寄りやすいように努めている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		老人会での講演会等に積極的に参加し、地域の方々にも行事に参加して頂けるよう呼びかけたりしている。

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	法人内の他事業所と協力し、講演活動にて認知症についてのプログラムを作成し、地域に対しての取り組みを行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する事で職員全員が初心に戻り、現在よりもよりよいケアに向けて話し合っている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、提供しているサービスについて報告し、多くの意見感想を聴き、今後のサービスに活かしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の委託により、認知症リーダー研修や開設者研修の実習の受け入れを行っており、受け入れを通じて連携を図っている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今現在、過去にも対象の入所者はおられないが、法人内研修で学ぶ機会を持つようにし理解に努めている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内研修で虐待防止を取り上げ、管理者・職員共に参加し、学習する事で常に意識を持つようにしている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に説明・相談の機会を持ち、理解・納得していただけるよう十分に説明を行っている。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見等は日常の会話の中で聞き入れ、それらをカンファレンスで取り上げ話し合うようにしている。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族が面会や行事等で来園された時に、その都度報告をするようにし、また金銭管理についても電話や書面、面会時等に報告している。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の意見等は面会時等に聞き、引き継ぎや連絡ノートにて全職員が把握。後にカンファレンスにて対応策を話し合っている。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員との会話の中で意見や提案を聞いているが、うまく反映できていない。		職員とのコミュニケーションを密に図り、話し合う機会を持ちたい。
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況の変化に対応できるよう一定期間シフトを交換したりと、その都度ニーズに対応できるよう調整している。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動に関しては法人が決定するため、利用者へのダメージを防ぐ点では配慮できていない。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の募集・採用に関しては法人が行っているため、詳しい事は把握できていない。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>法人内研修で人権について取り上げ、学ぶ機会があり、カンファレンス等でもその都度話し合いを行っている。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個人の段階に応じて外部の研修を受講できるようにしている。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部のグループホームの方々と合同勉強会を企画し、ネットワークづくりや意見交換によってお互いのグループホームサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>不定期だが、全職員参加の食事会があり、気分転換になっている。しかし、現場でのストレスケアは十分であるとはいえない。</p>		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努力や実績を目に見えるように評価するものがない。職員の気持ち・考えを理解できるよう会話を多く持ち、向上心を持つようにはしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面接時には、ホームに来ていただくか訪問するようにし、不安や求めている事を聴く機会をつくっている。また、入所後はマンツーマン対応等で集中的に関わりを持つようにしている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込みや面接時にご家族の意向お聞きしたり、入所後にはその都度相談や求めていること等をお受けしている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の際、当ホームに空きがなく、急を要する場合は居宅の事業所や他グループホームをすすめたりしている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	当ホームに馴染みを持っていただけるよう体験入居をすすめしており、実際に生活しながら、ご家族の協力も得て環境の変化によるダメージを少なくできるよう努力してい。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「共に生活する」ことを意識して、一緒に過ごしながら実践している。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面接時や行事等でご家族がホームに来られた際には状況報告を行い、ケアの方向性を一緒に考えていくようにしている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	時には御本人とご家族の距離をあけていただき、お互いがよい関係を保てるように支援している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個別での支援において、馴染みの人との連絡を取り、逢いに行けるように日時を調整し、送迎等の支援を行っている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食堂や座敷での座席、外出時の車内の席等、入居者同士の関係に十分配慮し、関わり合いが持てる“きっかけ”作りを支援している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も職員が自分の意思で面会に行ったりと、入居者や家族との関係を継続している。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に生活歴チャートへの記入をご家族に依頼し、今までの生活から「その人らしさ」をくみ取り、暮らし方の希望、意向の把握につなげている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご家族に生活歴チャートへの記入を依頼し、一人ひとりの生活歴等の把握に努めている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの過ごし方については、日常的に職員と話し合うようにしているが、ICFの視点で実際に全職員が理解し、ケアに努めているとは言えない。		新しい職員も多い為、ICFについて学ぶ機会を持ち、理解して実践できるように取り組んでいきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族・ご本人の意見は必ず取り入れているが、現場職員の意見や、必要であれば医療機関等の意見も取り入れた介護計画を作成している。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入院等により対応できない変化が生じた場合、現場ではすぐに見直しを行っているが、介護計画の見直し、作成まではできていない。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活支援記録に日々の様子等細かく記入し、勤務に入る前は全職員が必ず目を通すようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族やご本人の状況にできる限り対応できるよう受診や外出の支援を行っている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	避難訓練には消防署の方も参加していただいたり、行事にはボランティアを依頼して参加いただいたりと、いろいろな機関等から協力を得ている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	以前当ホームにおられ、在宅復帰された方は居宅のケアマネジャーと協力しサービスを利用している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在地位包括支援センターとは運営推進会議での関わりしかない。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にはかかりつけ医の確認を必ず行っており、入居後状態の変化によって必要であればご家族と相談し、かかりつけ医の変更も行っている。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関でもある精神科医とは受診だけでなく、状況変化にも電話等で相談に応じていただいたりと関係づくりはできている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	複合施設内に看護職員がおり、相談や処置等の対応もできるよになっている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>早期退院に向け、職員が頻回に面会に行き、病院関係者やご家族との情報交換や相談を行っている。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期にかける医療との連携は不十分なところも多く、方針もはっきりとは決まっておらず、対応は困難な状態である。</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>終末期に向けた支援はまだまだ困難な状態だが、重度化に向けた支援に関してはできるだけグループホームで生活が継続できるように取り組んでいる。</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>退院前にはご家族や病院側と相談を重ね、外出や外泊を徐々も増やして住み替えによるダメージを極力軽減・防げるように努めている。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーに関しては理念でもふれており、言葉かけや対応には十分注意をしている。また、個人情報の取り扱いにおいては誓約書を取り交わしてプライバシー保護に努めている。</p>		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の生活、会話の中で自己決定ができるような支援を行い、会話でも一人ひとりの能力に応じた対応を行っている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活のペースを大切にするため、タイムスケジュールは作成しておらず、希望にそって支援をしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしいおしゃれ等ができるよう衣類をご本人に選択していただいたりしている。また、理美容に関してはご本人の望む店があれば行くことの支援も可能である。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	可能であれば小さなことでも準備や片付けを手伝っていただき、職員も一緒に関わっている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶を好んで飲まれず、水分摂取がうまくいかない入居者も多くおられ、常時しょうが湯やコーヒー等をそろえている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作成し、排泄パターン把握に努めている。また、ご本人のしぐさや言動からもくみ取り、さりげなくトイレ行きできるように支援している。		重度化に伴い、一人ひとりの可能な能力を活かせていないため、今後職員と共に取り組んでいきたい。

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴希望があまりない為、午後からの入浴が多いが、夕食後に入浴希望があり、入浴される方もおられ、基本的には入浴時間帯は決まっていない。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝前のケアを大切に、一人ひとりの状況に応じて安心して休んでいただけるように努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの希望や楽しみを聞き、外出や買い物などの支援をしたり、室内でも歌やテーブルゲーム、散歩等楽しみのある生活へ向けて支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	何名かはお金を所持されている方もいらっしゃるが、盗られ妄想の原因にもなるためほとんどの方はこちらで管理している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じてドライブや個別での買い物支援をしているが、身体的に重度化しており外出支援ができていない方もおられる。		身体的に重度化されている方々の支援ができておらず、職員と共にできる限りの支援ができるように取り組んでいきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日帰り旅行ではご家族にも案内を出し、一緒に参加できる機会をつくっている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	外部からの電話や手紙の取次ぎや、2階の公衆電話使用の支援は行っているが、手紙の返信までには至っていない。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問された方がゆっくりと過ごせるように座敷等の場の提供や飲み物の提供を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についてすべての職員が関心を持ち、理解を高めるために、法人内研修を実施している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室にカギはついているが、入居者が内部から鍵をかける以外、かけることはない。また、庭へ通じるドアは日中カギがかかっている事はなく、自由に出入りが可能。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者の行動に関しては監視するのではなく、さりげなく見守りを行い、必要であればチェック表を作成し意識するようにしている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤や刃物(包丁)はシンクの下に保管するように取り決め、使用の際は職員と一緒にしている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルとして作成し、すぐに見られようにはしてあるが、職員の知識や技術が不足しており職員自身も不安を持っている。		事故防止や対応に関しては、研修や実習の機会をつくり、意識を高めていきたい。

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルとして作成しており、いつでも見られようようにしてあるが、全職員が理解できているとはいえず、訓練も年1回のみ。		全職員が対応できるように、学ぶ機会を作り理解できるように努めたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	複合施設としての避難訓練を定期的に行っており、消防車等を使っての大きな訓練では地域の人々にもお知らせをし、協力を得ている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	日常生活を送る中でのリスクについては、面会時等に一人ひとりの状況と共にご家族に説明を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの状況変化の際には、複合施設内の看護師に相談・対応ができるようになっている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが使用している薬の詳細は、プリントをファイルにとじて一覧にしており、スタッフはいつでも見れるようにしている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬を使用している方も多いが、薬だけでなく、運動やマッサージを取り入れたり、きな粉や牛乳、野菜ジュースを提供し便秘予防・改善に努めている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりの状況に応じた口腔ケアを実施しているが、職員の口腔内清潔保持に対する意識が不足している。		口腔ケアに対する意識を全職員が強く持てるよう研修の機会や歯科医の指導を受けられるような場を持つと同時に口腔ケアを嫌う方への対応も話し合っていきたい。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食べ方や量も異なるため、手で食べる方には一口大のおにぎりにしたり、義歯がなく嚥下に問題のある方は刻みにしたりと工夫して提供している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人で作成されたマニュアルがある。また、感染症予防推進プロジェクトがあり、活動している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理や食材の管理については複合施設の厨房で行っている。また、栄養士の指導のもと衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節の花を飾ったり、熱帯魚や亀等の生き物を飼ったりと親しみを持ってもらえるようにしている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	「施設」を感じさせず「生活感」が感じられるようにあたたかさをもった空間を意識している。また、足音や物音等にも日常的に職員と話し、居心地よく過ごせるように努めている。		

グループホーム 倫尚園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂・談話コーナー・座敷等、一人で過ごしたり、入居者同士で過ごしたりと状況や雰囲気に応じて場の提供ができるようにしている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には今まで使っていたタンスや鏡台等、使い慣れたものを持ち込んでいただき、居心地よく過ごせる場になっている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	排煙や窓を開け換気をするよう心がけている。また、冷暖房を使う際はききすぎることの無いよう注意している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ・浴室、座敷の段差には手すりが設置されており、居室内も一人ひとりの状態に応じてポータブルトイレ、椅子、テーブルの位置には気をつけている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室には一人ひとり表札を作ったり、トイレには漢字でわかりやすく大きく「便所」と表示し、混乱を防ぐ工夫をしている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭が広く、整備された歩道や休憩できる東屋もあり、日光浴や散歩を行ったりしている。		

グループホーム 倫尚園

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 倫尚園

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・重度化に伴い「その人らしさ」を大切にケアしていくため、個別手順書の作成に努め実践している。
- ・入居者のニーズや希望に添えるようなローテーションを組み、柔軟に対応できるようにしている。